

片山議員提出資料

平成 1 5 年 4 月 2 1 日

科学技術関係予算における重点化

科学技術関係予算は増加しているものの、重点4分野への重点化は不十分
(重点4分野の全体に占めるシェアは、大きな変化なし)

重点4分野の予算の推移

重点4分野の予算比率はわずか1%の増

(平成13年度:20.8% 平成15年度:21.8%)

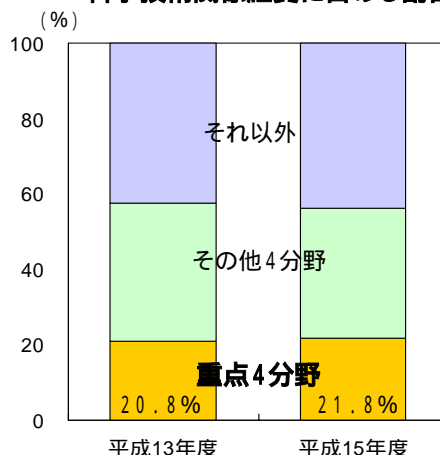
情報通信分野

平成15年度は前年度比0.3%減

(平成14年度:1758億円 平成15年度:1753億円
うち総務省分は746億円 772億円 3.2%増)

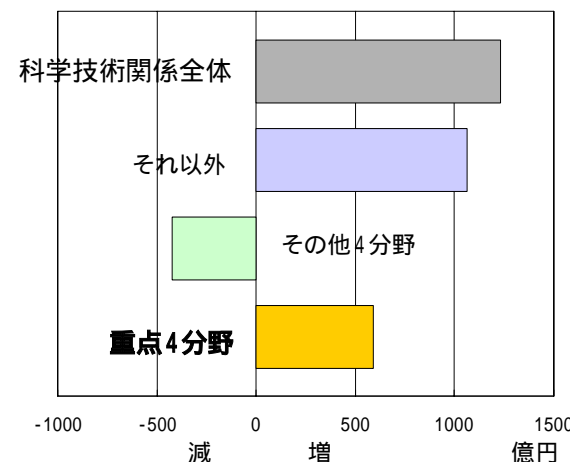
重点4分野:ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテク・材料
その他4分野:エネルギー、製造技術、社会基盤、フロンティア

科学技術関係経費に占める割合



分野別の増減額

(平成13年度 15年度)



出典: 総合科学技術会議資料等から

分野別研究主体研究費

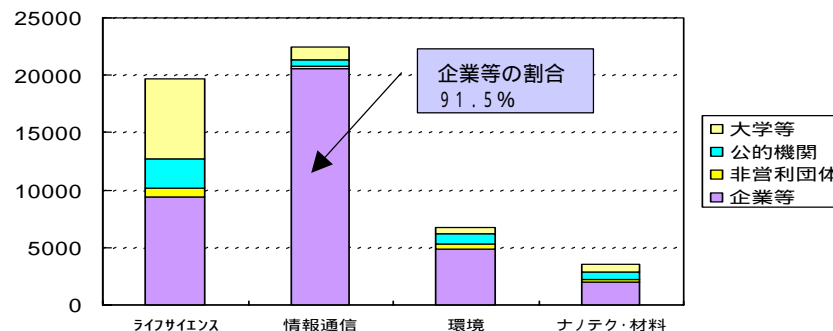
情報通信の研究開発は企業等の割合が90%以上

企業の研究開発費削減による影響懸念

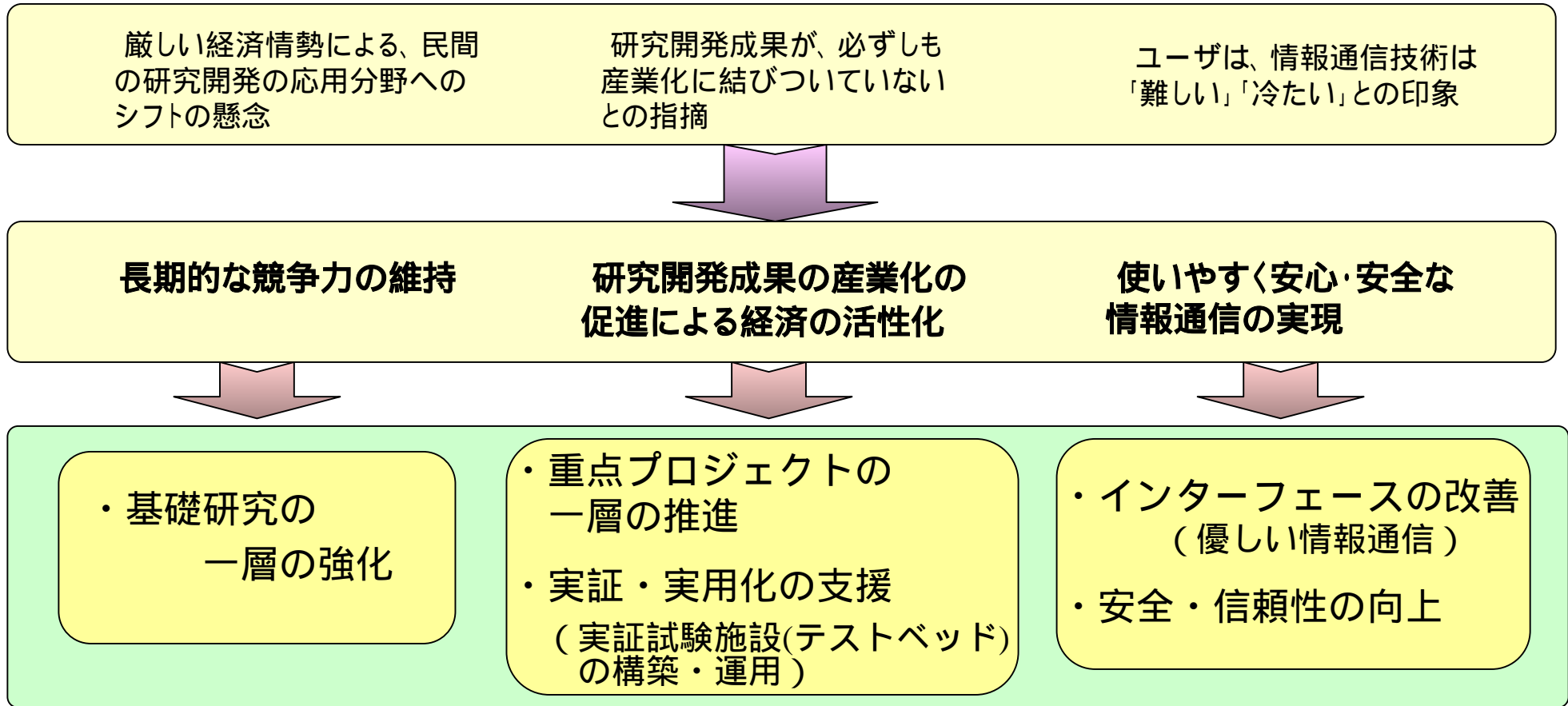
我が国全体の研究開発水準の維持・向上が重要

分野別研究主体別研究費(平成13年度)

(億円)



情報通信分野の研究開発の基本的な考え方



(参考)

平成16年度の科学技術分野の重点事項 (第26回総合科学技術会議(H15.3.28)資料から)

研究基盤の強化による
国力の充実

国際競争力の確保・強化による
経済活性化

諸課題に対応する安心・
安全な社会の構築

情報通信分野の主な研究開発の例

基礎研究強化等

基礎的研究開発、融合領域の研究開発

基礎研究水準の維持・向上のため、他の分野との融合領域を含む基礎研究の強化

(量子情報通信技術、生物の情報伝達機能解明、ナノテク活用による次世代ネットワーク技術等)

競争的研究資金の拡充

研究開発成果の産業化支援

新たな市場創設等、経済活性化に資する研究開発

新たな市場創設により、我が国の経済活性化を推進

(ユビキタス(何でもどこでも)ネットワーク技術、インターネットのIPv6化関連技術、ネットワーク・ロボット技術等)

世界での普及を目指した研究開発

我が国が競争力を有する分野について、国際市場での普及を目指した研究開発の推進

(ネットワークの端から端まで光で行うネットワーク超高速化技術、第4世代移動通信などのモバイル技術等)

実証・実用化実験支援の強化

実証試験施設(テストベッド)の整備による実証・実用化実験の支援、産学官連携の推進

(ユビキタスネットワーク時代に向けた次世代研究開発ネットワークの整備等)

国民の安心安全と感動

安心・安全なネットワーク環境実現のための研究開発

情報通信を安心して使用するために必要な、安全性、信頼性の研究開発

(セキュリティ基盤技術、認証技術、ネットワーク信頼性向上技術等)

ユーザが使いやすく喜びを得られる研究開発

ユーザの視点を重視した、使いやすい情報通信、安心や感動を感じられる研究開発

(ネットワーク・ヒューマン・インターフェース技術等、医療、福祉、教育/研修等へのIT適用)

安心・安全な社会に資する消防防災分野の研究開発の基本的な考え方

科学技術の高度化や都市構造の複雑化により災害の態様が複雑・多様化

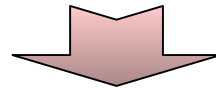
広域かつ激甚な大規模地震
(例:東海地震)

新しい科学技術の発展に
伴う災害の特殊化

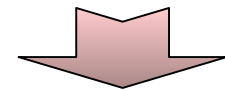
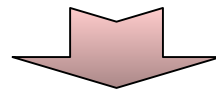
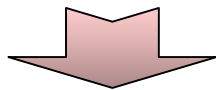
NBC災害
(例:原子力災害)

(例:大深度地下災害)

に対して迅速かつ的確な対応が必要



科学技術の進展に応じた消防防災技術の高度化を図り、
安心・安全な社会を構築



消防防災における科学技術の高度化に向け、戦略プランに基づき重点的に推進

(例)

緊急消防援助隊用の耐熱特殊
装甲救助車の開発

消防ロボットや地下活動支援
機器などの開発

NBC災害対応資機材など
の開発